

ぜん息のお薬

おもな長期管理薬（コントローラー）・・・気管支の状態を良くし、発作がおこらないように長期間予防的に使う薬

薬の役割	気管支の炎症をおさえる薬		気管支を広げる薬		新たなぜん息発作がおきるのをおさえる薬																																
			気管支拡張薬	キサンチン系薬	抗アレルギー薬																																
薬の種類	ステロイド薬		長時間作用性β ₂ 刺激薬	テオフィリン徐放製剤	ロイコトリエン受容体拮抗薬	化学伝達物質遊離抑制薬	Th2サイトカイン阻害薬	ヒスタミンH ₁ 拮抗薬	トロンボキサンA ₂ 合成阻害薬・受容体拮抗薬																												
効能	気管支に直接到達して、炎症をおさえる。	全身投与により炎症をおさえる（重症持続時の短期間の投与が原則）。	1剤で、気管支の炎症をおさえる効果と気管支を広げる効果がある。	交感神経を刺激して、気管支を広げる。12時間以上効果が持続する（吸入ステロイド薬との併用が基本）。	ゆっくり溶ける作用時間の長い薬で、気管支を広げる。	気管支を収縮させる作用に深く関係しているロイコトリエンという化学伝達物質の働きをブロックする。	気管支の収縮を引き起こす化学伝達物質が肥満細胞から放出されるのをおさえる。	アレルギー炎症を起こす物質（サイトカイン）の産生をおさえる。	肥満細胞からの化学伝達物質の放出をおさえる作用にあわせて、ヒスタミンの働きをおさえる効果がある。	肥満細胞からの化学伝達物質（トロンボキサン）の産生・放出をおさえる。																											
用法	吸入	経口	吸入	吸入・貼付	経口	経口	吸入	経口	経口	経口	経口																										
おもな副作用	のどの刺激による咳、声がれ、口腔カンジダ症など（一般的な使用量では全身性の副作用はほとんどなく、吸入後のうがいや水分摂取で多くの場合は予防可能）。		感染症の誘発・増悪、骨粗しょう症、大腿骨などの骨頭無菌性壊死、副腎機能不全、糖尿病の誘発・増悪など。	声がれ、口腔カンジダ症、咽喉頭部への刺激感、心悸亢進など。	心悸亢進、頭痛、吐き気など。	吐き気、嘔吐などの胃腸症状、興奮、食欲不振、下痢、不眠、いけいれんなど。	発疹、下痢・腹痛、肝機能障害など。	咽喉頭部への刺激感、嘔吐、咳など。	肝機能障害や発疹など。	胃の不快感、吐き気、下痢などの消化器症状、眠気、頭痛、発疹、肝機能障害など。	眠気やいけいれん、興奮など。	肝機能障害や発疹など。																									
商品名	■キュパール キュパール50エアゾール キュパール100エアゾール ■フルタイド フルタイド50ディスクス フルタイド100ディスクス フルタイド200ディスクス フルタイド50ugエアゾール120吸入用 フルタイド100ugエアゾール60吸入用 フルタイド50ugエアゾール120吸入用 フルタイド100ugエアゾール60吸入用 ■バルミコート バルミコート吸入液0.25mg バルミコート吸入液0.5mg バルミコート100ugタービヘイラー112吸入用 バルミコート200ugタービヘイラー56吸入用・112吸入用 ■オルベスコ オルベスコ50ugインヘラー112吸入用 オルベスコ100ugインヘラー56吸入用・112吸入用 オルベスコ200ugインヘラー56吸入用	■コートリル コートリル錠10mg ■フレドニゾン フレドニゾン各社販売 ■メドロール メドロール錠2mg メドロール錠4mg ■レダコート レダコート錠4mg ■デカドロン デカドロン錠0.5mg デカドロンエリキシル0.01% ■リンデロン リンデロン錠0.1% リンデロン錠0.5mg リンデロンシロップ0.01% ■アスマネックス アスマネックススチストヘラー100ug60吸入用 アスマネックススチストヘラー200ug60吸入用	■アドエア アドエア100ディスクス28吸入用・60吸入用 アドエア250ディスクス28吸入用・60吸入用 アドエア500ディスクス28吸入用・60吸入用 アドエア50エアゾール120吸入用 アドエア125エアゾール120吸入用 アドエア250エアゾール120吸入用 ■シムビコート シムビコートタービヘイラー30吸入用・60吸入用 ■ルティフォーム ルティフォーム50エアゾール56吸入用・120吸入用 ルティフォーム125エアゾール56吸入用・120吸入用 ■レルベア レルベア100エリプタ14吸入用・30吸入用 レルベア200エリプタ14吸入用・30吸入用	■セレベント セレベント50ディスクス セレベント25ロタディスク セレベント50ロタディスク ■ホクナリン ホクナリンテープ0.5mg ホクナリンテープ1mg ホクナリンテープ2mg	■テオドール テオドール顆粒20% テオドール錠50mg テオドール錠100mg テオドール錠200mg テオドールシロップ2% テオドールドライシロップ20% ■テオロング テオロング顆粒50% テオロング錠50mg テオロング錠100mg テオロング錠200mg ■スロービッド スロービッド顆粒20%	■オノン オノンカプセル112.5mg オノンドライシロップ10% ■キプレス キプレス錠4mg キプレス錠5mg キプレス錠10mg キプレスデュアル錠5mg ■シンブレア シンブレア錠4mg シンブレア錠5mg シンブレア錠10mg シンブレアデュアル錠5mg	■インタール インタールカプセル外用20mg インタール吸入液1% インタールエアロノール1mg	■リザベン リザベン錠10% リザベンカプセル100mg リザベンドライシロップ5% ■ソルファ ソルファ25mg錠 ソルファ50mg錠 ■ケタス ケタスカプセル10mg ■アレギサル アレギサル錠5mg アレギサル錠10mg アレギサルドライシロップ0.5%	■アイビーディ アイビーディカプセル50 アイビーディカプセル100 アイビーディドライシロップ5% ■ベミラストン ベミラストン錠5mg ベミラストン錠10mg ベミラストンドライシロップ0.5%	■ザジテン ザジテンカプセル1mg ザジテンシロップ0.02% ザジテンドライシロップ0.1% ■アゼブチン アゼブチン顆粒0.2% アゼブチン錠0.5mg アゼブチン錠1mg ■セルテクト セルテクト錠30	セルテクトドライシロップ2% ■ゼスラン ゼスラン錠3mg ■ニボラジン ニボラジン錠3mg ■アレジオン アレジオン錠10 アレジオン錠20 アレジオンドライシロップ1%	■ベガ ベガ錠100mg ベガ錠200mg ■ドメナン ドメナン錠100mg ドメナン錠200mg ■プロニカ プロニカ錠10% プロニカ錠40 プロニカ錠60																									
使用目安	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>ステップ1（軽症間欠型治療）</th> <th>ステップ2（軽症持続型治療）</th> <th>ステップ3（中等症持続型治療）</th> <th>ステップ4（重症持続型治療）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>症状</th> <td>週1回未満、軽度で短い症状が起きます。夜間症状は月2回未満。</td> <td>週1回以上の症状があり、月1回以上日常生活や睡眠が妨げられる。夜間症状は月2回以上。</td> <td>毎日症状があり、週1回以上日常生活や睡眠が妨げられる。夜間症状は週1回以上。</td> <td>毎日症状があり、日常生活が制限される。夜間症状がしばしばある。</td> </tr> <tr> <th>基本治療</th> <td> <ul style="list-style-type: none"> 吸入ステロイド薬（低用量） 使用できない場合は以下のいずれかを用いる ロイコトリエン受容体拮抗薬 テオフィリン徐放製剤 ※症状がまれに出る程度なら必要なし </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 吸入ステロイド薬（低～中用量） 不十分な場合は以下のいずれか1剤を用いる 長時間作用性β₂刺激薬 吸入ステロイド薬／長時間作用性β₂刺激薬配合剤 ロイコトリエン受容体拮抗薬 テオフィリン徐放製剤 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 吸入ステロイド薬（中～高用量） 以下のいずれか1つ、もしくは複数併用 長時間作用性β₂刺激薬 長時間作用性β₂刺激薬・吸入ステロイド薬／長時間作用性β₂刺激薬配合剤 ロイコトリエン受容体拮抗薬 テオフィリン徐放製剤 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 吸入ステロイド薬（高用量） 上記に以下の複数併用 長時間作用性β₂刺激薬・吸入ステロイド薬／長時間作用性β₂刺激薬配合剤 ロイコトリエン受容体拮抗薬 ※それでも管理不良の場合は以下を使用 経口ステロイド薬 </td> </tr> <tr> <th>追加治療</th> <td colspan="4">ロイコトリエン受容体拮抗薬以外の抗アレルギー薬</td> </tr> <tr> <th>発作治療</th> <td colspan="4">吸入短時間作用性β₂刺激薬</td> </tr> </tbody> </table>													ステップ1（軽症間欠型治療）	ステップ2（軽症持続型治療）	ステップ3（中等症持続型治療）	ステップ4（重症持続型治療）	症状	週1回未満、軽度で短い症状が起きます。夜間症状は月2回未満。	週1回以上の症状があり、月1回以上日常生活や睡眠が妨げられる。夜間症状は月2回以上。	毎日症状があり、週1回以上日常生活や睡眠が妨げられる。夜間症状は週1回以上。	毎日症状があり、日常生活が制限される。夜間症状がしばしばある。	基本治療	<ul style="list-style-type: none"> 吸入ステロイド薬（低用量） 使用できない場合は以下のいずれかを用いる ロイコトリエン受容体拮抗薬 テオフィリン徐放製剤 ※症状がまれに出る程度なら必要なし 	<ul style="list-style-type: none"> 吸入ステロイド薬（低～中用量） 不十分な場合は以下のいずれか1剤を用いる 長時間作用性β₂刺激薬 吸入ステロイド薬／長時間作用性β₂刺激薬配合剤 ロイコトリエン受容体拮抗薬 テオフィリン徐放製剤 	<ul style="list-style-type: none"> 吸入ステロイド薬（中～高用量） 以下のいずれか1つ、もしくは複数併用 長時間作用性β₂刺激薬 長時間作用性β₂刺激薬・吸入ステロイド薬／長時間作用性β₂刺激薬配合剤 ロイコトリエン受容体拮抗薬 テオフィリン徐放製剤 	<ul style="list-style-type: none"> 吸入ステロイド薬（高用量） 上記に以下の複数併用 長時間作用性β₂刺激薬・吸入ステロイド薬／長時間作用性β₂刺激薬配合剤 ロイコトリエン受容体拮抗薬 ※それでも管理不良の場合は以下を使用 経口ステロイド薬 	追加治療	ロイコトリエン受容体拮抗薬以外の抗アレルギー薬				発作治療	吸入短時間作用性β ₂ 刺激薬			
	ステップ1（軽症間欠型治療）	ステップ2（軽症持続型治療）	ステップ3（中等症持続型治療）	ステップ4（重症持続型治療）																																	
症状	週1回未満、軽度で短い症状が起きます。夜間症状は月2回未満。	週1回以上の症状があり、月1回以上日常生活や睡眠が妨げられる。夜間症状は月2回以上。	毎日症状があり、週1回以上日常生活や睡眠が妨げられる。夜間症状は週1回以上。	毎日症状があり、日常生活が制限される。夜間症状がしばしばある。																																	
基本治療	<ul style="list-style-type: none"> 吸入ステロイド薬（低用量） 使用できない場合は以下のいずれかを用いる ロイコトリエン受容体拮抗薬 テオフィリン徐放製剤 ※症状がまれに出る程度なら必要なし 	<ul style="list-style-type: none"> 吸入ステロイド薬（低～中用量） 不十分な場合は以下のいずれか1剤を用いる 長時間作用性β₂刺激薬 吸入ステロイド薬／長時間作用性β₂刺激薬配合剤 ロイコトリエン受容体拮抗薬 テオフィリン徐放製剤 	<ul style="list-style-type: none"> 吸入ステロイド薬（中～高用量） 以下のいずれか1つ、もしくは複数併用 長時間作用性β₂刺激薬 長時間作用性β₂刺激薬・吸入ステロイド薬／長時間作用性β₂刺激薬配合剤 ロイコトリエン受容体拮抗薬 テオフィリン徐放製剤 	<ul style="list-style-type: none"> 吸入ステロイド薬（高用量） 上記に以下の複数併用 長時間作用性β₂刺激薬・吸入ステロイド薬／長時間作用性β₂刺激薬配合剤 ロイコトリエン受容体拮抗薬 ※それでも管理不良の場合は以下を使用 経口ステロイド薬 																																	
追加治療	ロイコトリエン受容体拮抗薬以外の抗アレルギー薬																																				
発作治療	吸入短時間作用性β ₂ 刺激薬																																				

※アドエア、シムビコートはCOPDにも適応しています（ぜん息の巻参照）。また、吸入ステロイド薬は単独ではCOPDには適応はありませんが、医師の判断で使用されることがあります。※「アロベスコ」200μg【テルシガンエロノール100μg】「スピリーバ」2.5μgレスピマック60吸入用はぜん息にも適応しています（COPDの巻参照）。※薬剤の写真は2015年1月時点のもので、各社のウェブサイトより許可を得て転載しています。製品は予告なく販売中止および外観の変更がされる可能性があります。